

別記 調査書作成の要領

- 1 中学校は、校長を委員長とする調査書作成委員会を設置するものとする。
- 2 「志望」の記入に当たっては、記入した欄の系又は科のいずれかを○で囲む。
- 3 「受検者」の記入に当たっては、「卒業・卒業見込み」の該当するものを○で囲む。
- 4 「各教科の学習の記録」の記入に当たっては、次のとおりとする。
 - (1) 第1、第2学年の評定は、生徒指導要録の記載どおりに5段階法で記入する。
 - (2) 第3学年の評定は、生徒指導要録の評定方法に従い、年間を見通して5段階法で記入する。
 - (3) 選択教科を実施した中学校においては、「各教科の学習の記録」の「外国語」の下の欄に教科名、評定を記入する。
- 5 「総合的な学習の時間の記録」の記入に当たっては、次のとおりとする。

生徒指導要録の評価方法に従い、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、その特徴を記入する等、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で記入する。
- 6 「特別活動の記録」の記入に当たっては、次のとおりとする。

生徒指導要録の評価方法に従い、各活動・学校行事ごとに、評価の観点に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合に、○印を記入する。その他の場合には空欄とせず／印（ ☐ / ☐ ）を記入する。

 - (1) 第1、第2学年は、生徒指導要録の記載どおりに記入する。
 - (2) 第3学年は、年間を見通して記入する。
- 7 「行動の記録」の記入に当たっては、次のとおりとする。

第3学年について、生徒指導要録の評価方法に従い、年間を見通して記入する。

記入に当たっては、各項目の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合に、○印を記入する。その他の場合には空欄とせず／印（ ☐ / ☐ ）を記入する。

8 「文化活動・スポーツ活動・社会活動・特技等の記録」の記入に当たっては、次のとおりとする。

(1) 校内活動

ア 「教科学習以外の活動」

- (ア) 「特別活動及び部活動」において、リーダーとして活躍している場合について記入する。
 (イ) 「学術的、芸術的、体育的活動」について、中学校在籍中に県大会・県コンクールに入賞・入選以上のものについて記入する。

(記入例)

教 科 学 習 以 外 の 活 動		
名 称	活 動 状 況 等	年 ・ 月
生徒会活動	生徒会長	R7. 4 ～ R8. 3
部活動	サッカー部長	R6. 8 ～ R7. 7
全国中学校作文コンクール	文部科学大臣賞	R6. 11
関東中学校陸上競技大会	100m、2 位	R7. 8

なお、記入する範囲は次のとおりとする。

リーダー的活動	特 別 活 動 等	学級活動（委員長、副委員長） 生徒会活動（生徒会長、副会長、書記、会計、各種委員会の委員長、副委員長） 学校行事（実行委員長、実行副委員長） 部活動（部長、副部长） 等
学 術 的 活 動		栃木県理科学研究展覧会・発表会 日本学生科学賞栃木県展覧会 栃木県児童生徒発明工夫展覧会 全国中学校作品コンクール 全国中学校作文コンクール 読書感想文コンクール 栃木県中学校英語スピーチコンテスト 等
芸 術 的 活 動		教育祭（芸術祭）、学校音楽祭、教育書道展覧会 全国教育美術展 等
体 育 的 活 動		全国中学校各種大会、関東中学校各種大会 栃木県中学校総合体育大会 栃木県中学校新人体育大会 等

イ 「その他の教科学習以外の活動・特技等」

「教科学習以外の活動」欄に記入できない特別活動、部活動、校内活動における優れた点や特技等について記入する。

新体力テストについてはAのものを記入する。

(2) 校外活動

学校教育以外の諸活動（例えば、市町村教育委員会等主催の青少年教育活動、青少年団体活動等）における継続的な活動及び個人参加の大会等における優れた成績等について、次の範囲で記入する。

市町村教育委員会等主催の青少年教育活動	少年教室 青少年地域活動 （ふるさと活動、仲間づくり、ボランティア活動 等） 自然体験活動 スポーツ教室 等
青少年団体活動	単位子ども会 ボーイスカウト ガールスカウト 等
その他の教育的活動 （優れた成績等）	スポーツ少年団、道場（柔道、剣道等）、スポーツクラブ（スイミング、テニス等） 音楽・美術・書道教室 英語検定（3級以上）、珠算検定（3級以上） チームとちぎジュニア選手、エクセレントジュニア 等

- 9 「転・編入年月日」の記入に当たっては、次のとおりとする。

生徒の転入学、編入学があった場合は、「転」又は「編」並びに「元号」の該当するものを○で囲み、その年月日を記入する。

転入学、編入学のない場合には、斜線（）を記入する。

- 10 「出欠の記録」の記入に当たっては、次のとおりとする。

第3学年の欠席状況について記入する。

令和8（2026）年3月卒業見込みの生徒については、1月末日現在で記入する。ただし、特色選抜においては12月末日現在で記入する。

「主な理由」には、欠席理由の主なものを記入する。

- 11 「健康状況」の記入に当たっては、次のとおりとする。

受検の際の配慮すべき事項がある場合に記入する。

- 12 転入生等において、「調査書作成の要領」によりがたい場合は、欄外にその旨記載するとともに、記入不能の部分については斜線（）を記入する。

- 13 上記以外の項目については「様式7」の裏面の記述（43頁）に従って記入する。

- 14 過年度の卒業者については、次のとおりとする。

- (1) 令和3（2021）年3月以降の卒業者

「様式7」（42頁）を用い、作成に当たっては、上記1から13に準ずる。

- (2) 令和2（2020）年3月以前の卒業者（中学校卒業後5年以上を経過した志願者）

「調査書」の提出は必要ないが、「中学校卒業証明書」及び「中学校卒業後5年以上を経過した志願者の志願理由書」を、志願者本人が志願先高等学校長に提出する。

ただし、特色選抜に出願する際は、「中学校卒業後5年以上を経過した志願者の志願理由書」の提出は必要ない。

